

Professionalレベル認定基準

1. 求める能力

以下、4つの能力をすべて備えている者

- ① デジタルアクセシビリティに関する研究、支援実践にすぐれ、各地での支援技術の利用の中心的役割を担っていること
- ② Basic、Standard 有資格者向けのサポートや地域コミュニティを運営し、本協会が主催するセミナーの研修会講師を担当できること。
- ③ 障害のある方へのデジタル機器のサポート経験を有し、かつ今後もサポートする力を有していること。
- ④ 指導者としての人格および見識を兼ね備えていること。

2. 審査会

- デジタルアクセシビリティアドバイザー認定委員会が審査をおこなう。
- 審査会は原則として半期に一度開催する。

3. 審査申請基準

- DAA の Standard レベル取得から 2 年以上を経過していること。
- 自己申告による申請とし、Standard 資格の推薦者を 2 名以上の推薦書を添付できること。または、Professional 資格の推薦者の場合は 1 名以上の推薦書を添付できること。

4. 資格認定審査

- ① (1 次審査)書類審査:申請書類について、申請条件を満たしているかどうか審査。
- ② (2 次審査)課題事例に関するビデオ試験:仮想支援事例を提示し、それに対するサポート方法の動画を提出してもらい審査する。「知識・課題把握・課題解決・論理的思考・表現」を評価する(4 段階のルーブリック評価)。作成動画は時間設定する、受講者が必ず、登場すること
- ③ (3 次審査)面接試験:オンラインによる 1 対 1 での面接試験とする。

5. 認定期間

2 年

6. 更新課題

認定期間中におこなった活動をポイント化して、10 ポイント以上を獲得すれば認定する。

ポイント項目(※ 精査中)

① <事例>

- ◇ コミュニティに実践事例を投稿する。
- ◇ サポート事例を DAA 認定委員会に報告し情報共有する。
- ◇ DAA フォーラムにて事例発表をおこなう。
- ◇ 指定学会で事例発表をおこなう。(キーワード「デジタルアクセシビリティ」の記載必須)

② <研修会開催>

- ◇ デジタルアクセシビリティに関する研修会の講師(場所・タイトル・人数・内容)
- ◇ コミュニティイベントの開催(場所・タイトル・人数・内容)

③ <研修会への参加>

- ◇ 指定研修会への参加(DAA 虎の穴・東京都 IT サポートセンター・リハ協の講習会など)
- ◇ その他の展示会(レポート必須)(HCR・バリアフリー展・キッズフェスタなど)

7. 開始時期

2025 年 9 月から申請受付開始

2025 年 3 月 20 日

一般社団法人日本支援技術協会技術協会
デジタルアクセシビリティアドバイザー検討委員会